

科目名	公共哲学特論	担当教員	山脇直司
科目属性	関連科目	単位数	2単位（面接0.5単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>アメリカのマイケル・サンデルの影響などで日本でも知られるようになった公共哲学とは、「善き公正な社会を追求しつつ、現下で起こっている切実な公共的諸問題を市民と共に追求する実践的学問」ないし「市民的な連帯や共感、批判的な相互の討論にもとづいて、公共性の蘇生をめざし、学際的な観点に立って、人々に社会的な活動への参加や貢献を呼びかけようとする実践的哲学」（広辞苑第六版）と定義できます。授業では、このような意味での公共哲学を、共生社会実現のための、教育、福祉、科学・技術、国際関係を横断する実践的な学問として展開するとともに、教育の現場でどのように活かすかを考究したいと思います。</p> <p>授業の到達目標は、以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語のパブリックの意味や、日本語の公共の概念を明確に理解する。 2. 減私奉公や減公奉私に代わる活私開公（かっしかいこう）型の教育論や福祉社会論を理解する。 3. 福島原発事故を受けて、環境問題と科学技術のあり方を再考する。 4. 民間外交（パブリック・ディプロマシー）にもとづく国と国ないし地域と地域の共生関係の可能性を考える。 5. 教育における公共哲学の重要性を理解する。 			
<p>【授業計画】</p> <p>授業は、まず以下に示す15回までの内容を、テキストに基づいて学習し、その総括的なスクーリングを行い、討議します。その後、2週間以内に4000字程度のレポートを提出してもらい、その評価を踏まえて、最後に科目習得試験を受けてもらいます。</p> <p>その上で、下記のような割合で総合評価を下すという形で行いたいと思います。（2単位）</p> <p>第1回： 公共哲学は何を目指すか——『公共哲学とは何か』第1章参照。</p> <p>第2回： 公共哲学の人間観と教育観（1）——『社会とどうかわるか』第1章参照。</p> <p>第3回： 同上（2）——『社会とどうかわるか』第2章参照。</p> <p>第4回： 同上（3）——『社会とどうかわるか』第3章参照。</p> <p>第5回： 同上（4）——『社会とどうかわるか』第4章参照。</p> <p>第6回： 同上（5）——『社会とどうかわるか』第5章参照。</p> <p>第7回： 同上（6）——『公共哲学からの応答』第1章参照。</p> <p>第8回： 公共哲学と福祉社会論（1）——『社会福祉思想の革新』第1章参照。</p> <p>第9回： 同上（2）——『社会福祉思想の革新』第2章参照。</p> <p>第10回： 同上（3）——『社会福祉思想の革新』第3章参照。</p> <p>第11回： 公共哲学と科学・技術教育（1）——『公共哲学からの応答』第3章参照。</p> <p>第12回： 同上（2）——『科学・技術と社会倫理』第2部・第3部参照。</p> <p>第13回： 公共哲学と様々な正義論——『公共哲学からの応答』第4章参照。</p> <p>第14回： 公共哲学と国際関係——『公共哲学とは何か』第6章参照。</p> <p>第15回： 公共哲学とシティズンシップの教育——『グローバル公共哲学』194-198頁。</p>			

【評価方法】

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、「科目修得試験」（50%）の割合で行います。

【教科書】

『公共哲学とは何か』ちくま新書 ISBN: 9784480061690

『社会とどうかかわるか』岩波ジュニア新書 ISBN: 9784005006083

『社会福祉思想の革新』川崎市民アカデミー出版部 ISBN: 9784916092700

『公共哲学からの応答』筑摩選書 ISBN: 9784480015327

『科学・技術と社会倫理』東京大学出版会 ISBN: 9784130011006

【参考図書】

『グローバル公共哲学』東京大学出版会。ISBN:978-4130101073